



# 三和電業グループSDGs 推進報告

2024年3月1日  
三和電業グループ  
代表取締役 山地 一慶

第71期（2023年8月-2024年7月）のグループ全社の取り組みをご報告いたします。

私たちは、安定的且つ継続的な企業経営を実現する重要課題として2022年から「SDGs」の推進に向けて取り組みを開始しています。

『日々の業務を通して地球と人にやさしい環境を創り続ける』この思いを常に意識し、技術者集団としてお客様と共に環境負荷の低減や資源の有効活用に役立つ設備技術を継続して創り出し、設備工事を通じて環境に貢献していきます。

重点課題	ターゲット	重点施策
<b>A：環境配慮活動の強化</b> 	1. 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進 2. LCA（ライフサイクルアセスメント）の推進 3. BCP対策 4. 再生可能エネルギー関連の営業活動推進	1. 建設副産物の発生抑制・再資源化 2. 低炭素社会実現に向けた材料・施工方法等の調査及び取り組み・CO2削減 3. レジリエンスを高め安全な組織を作る 4. 再生可能エネルギー提案による顧客（環境）貢献
<b>B：生産性向上の取り組み</b> 	1. 建設DX化の推進	1-1. 業務のモバイル化による5大管理(QCDSE)の向上 1-2. ICT関連技術（ツール）の積極活用
<b>C：働きがいのある職場環境整備</b> 	1. ワークライフバランスを充実させる 2. ベテラン層及び女性活躍のための職場環境整備 3. 人材育成の強化 4. 社会奉仕活動推進	1-1. 労働時間の適正化 1-2. 健康経営の取り組み 2-1. 技術者不足対策の実施 2-2. 既成概念に囚われない組織の検討 3. 企業として求める人材像を描く 4. ボランティア参加で意義ある人生を追求

私たちは、1948年に電気工事会社として創業し、空調設備・監視制御設備・太陽光発電設備をはじめとする環境設備・産業用システム開発等、建築物に関するすべての設備工事に対応できるようにグループ化を推進して参りました。

三和電業グループは、経営の最大目的を「人材育成」とし1981年に「経営理念」を発表しました。仕事を通じて4つの柱で5つの社会に貢献し、その歓びで全社員が生き活きと成長し、活力あふれる企業となり地域貢献、環境負荷低減などに取り組むことで、持続可能な社会づくりに貢献できるように努めて参ります。



（私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています）